上関

Roman Kaidou Kaminoseki

浪漫海道

2004上関町 町勢要覧

未来へ出航。



山口県上関町

ごあいさつ



上関町長
柏原　重海

現在、国においては「美しい国づくり」ということが言われております。

物の時代から心への時代へと移りゆく変わり目であるのだろうと思いますが、そのことに関連して、各地でそれぞれの美しい風景や、自然環境等の価値が見直され、また、求められているのもその一例だろうと思います。

上関町は古くの時代から、海上交通の要衝として栄えてきた町でございますが、現在、町に残されている、海を代表とする美しい風景や、私たちを取り巻く自然環境は私達にとって貴重な財産であると思いますし、将来へ向けても残していくべきものであると思います。

また、そのための必要施策も考察していく必要があると思っております。

私としては、新世紀を迎え、社会情勢に合わせた新たなまちづくりについての施策も必要となっていると考えておりますし、そのためには、活気にあふれた町の将来像というものをしっかりと見据え、ふるさと上関の再生のため、また、心豊かなまちづくりの実現に向けて努力して参りたいと思います。

海からはじまる上関浪漫。

海がもたらしたもの・・・
それは時の積み重なりが育んだかけがえのない歴史と文化。

瀬戸内海は古くから日本と中国、朝鮮を結ぶ「海の道」で、上関はその拠点として大陸と交流がありました。

古代の遣随使や遣唐使といった使者は必ず上関を経由しており、「万葉集」にも大和朝廷の役人が詠んだ歌が残されています。

平安時代の日宋貿易、室町時代の大内氏の日明貿易も上関を中継して行われ、源平合戦の折には大海戦が繰り広げられました。また、倭寇や村上水軍の本拠地としてもその名を知られています。

江戸時代に入ると、藩の出先機関であるお茶屋などが設けられ、朝鮮通信使をはじめとする各国使節や諸大名の参勤交代などを迎える迎賓館として利用されました。朝鮮通信使の華やかな入港の様子は絵図にも残されています。また北前船も多数寄港し、船旅の疲れをいやす宿場町が栄えました。

長い時を越え海の浪漫が息づく上関。先人たちが残してくれた歴史と文化は史跡や祭りとして受け継がれ、今なおまちの随所で輝きを放っています。















浪漫海道
Roman Kaidou Kaminoseki

02 フォトギャラリー
色いろの風景

06 **夢紀行**
- 町を歩けば
- 潮風を感じて
- 素朴な温もり
- みんなが主役

14 **忘れ得ぬとき、忘れ得ぬ場所**
海のまちの記憶

16 **花咲く海の町・上関**
～「歴史に学び、伝える」「海とともに、人とともに」～
- 医療・保健・福祉
- 環境・基盤整備
- 産業
- 教育・文化
- 地域文化

28 **海と時を超えて**
170mの海峡に秘められた数々のドラマ

34 **上関ガイドマップ**

36 **行政・議会**

37 **資料編** DATA of KAMINOSEKI

海はすべてをつなぐ道。そこは、「海のシルクロード」と呼ばれていた。

Roman Kaidou Photo Gallery

浪漫海道
フォトギャラリー















C O L O R S
［色いろの風景］

海に抱かれたまち上関には心安らぐ魅力的な風景が広がっています。
それらは時間とともに色あいを変化させ、
数々の名シーンを私たちの眼前に映し出してくれます。
自然が織りなす色のマジックが悠久の時へと私たちを誘います。

COLORS
［色いろの風景］

朝もやに包まれた島々や夕陽に照らされて幻想的な輝きを放つ水面、
夕暮れに浮かび上がる上関大橋のシルエット、
魔法をかけられたようなロマンチックな眺めの中から
無限のドラマが紡ぎ出されていきます。

上盛山山頂展望台より

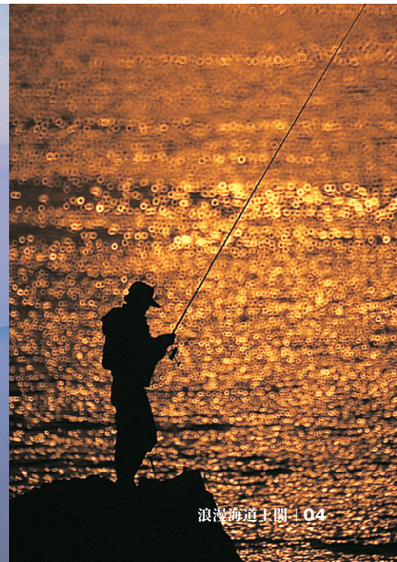
標高314mの山頂に登れば、瀬戸内海の美しい海と島々が360度のパノラマで広がっています。
古代の航路、水軍の本拠地、大内氏や毛利氏の軍事・経済の港として、大きな役割を果たしていた上関の歴史が垣間見えます。

写真提供：岩谷昇平









Roman Kaidou Yume Kikou

浪漫海道夢紀行

けば

長い歴史と現在の暮らしが交錯する町並みの中に、
今日も元気な子供たちの声がこだまします。

町を歩

machi wo arukeba

**海と山にはさまれた古い町並みを気ままにのんびり歩いてみると、
歴史を感じさせる家屋に出会えます。
江戸、明治、大正、昭和…、
さまざまな時代のまちの姿に思いを馳せてみませんか。**



過去と現在が交差する古い町並みの魅力

古くから海上交通の要衝として重要な地位を占めた上関は、下関・中関と並ぶ防長三関の一つとして発展してきました。朝鮮通信使や参勤交代の大名が訪れた往時のにぎわいは、今でもまちに残る史跡からうかがい知ることができます。

室津と上関、海峡をはさんで向かい合うこの二つの漁港の周辺には、今も古い町並みが残っています。

室津界隈を歩いてみると、ひときわ目をひくのが四階建ての洋風の建物「四階楼」です。明治十二年に建てられたこの建物は、県内の洋風建築最古のものの一つで、ステンドグラスをはじめとした装飾品も凝ったつくりで、独特のエキゾチックな雰囲気を醸し出しています。近くには、かつて海の本陣と呼ばれた肥後屋跡の碑があります。幕末に三条実美や、高杉晋作をはじめ多くの維新の志士が宿泊したことで有名です。

表通りを離れると、狭い路地が迷路のように入り組んで山裾をめぐっています。のんびりと路地から路地へと足を進めていくと、まちの歴史が垣間見えるような気がします。



上関界隈も、かつては北前船が寄港し商家が軒を連ねた歴史ある地域で、役場周辺の路地には風格のある古い造りの家屋が見られます。連続ドラマ「鳩子の海」のロケ地に選ばれたこともあり、今もその頃と同じおだやかな佇まいで訪れる人をやさしく迎えてくれます。



エキゾチックな洋風建築の「四階楼」



Roman Kaidou Yume Kikou

浪漫海道 夢紀行

潮風を感じて

siokaze wo kanjite



眼前に広がる瀬戸の海。
吸い込まれそうな空の下、晴れた日には四国まで見晴らすことができます。

海の香りを運んで さわやかな風が吹き抜ける…

穏やかな瀬戸の海に囲まれた上関では、さまざまな方角から素晴らしい海を眺めることができます。特に、高台にある上盛山展望台からは360度のパノラマで美しい海とみどりの島々を望むことができます。

四方に広がる海はどこまでも穏やかで、海峡を行き来する船や陽の光をうけて波立つ水面を見下ろしていると、時間のたつのを忘れてしまいそうです。



海辺で目に止まるデベラ干しは、上関の海の風物詩

山口県の最南端にある上関は、古来から海と共に生きてきたまち。
新鮮でおいしい海の幸も豊富で
まちのあちこちから見渡すことができる海の眺めも抜群です。
さわやかな潮の香りを胸いっぱい吸い込んで、まちの息吹きを感じてみませんか。

室

津、上関、蒲井、白井田、四代などの漁港を訪ねてみると、漁師さんや釣り客に出会えます。波の音に耳を傾けながら、港で働く人々の姿や、釣り人が釣り上げる魚などをじっと見つめていると、海が一段と身近に感じられてくるから不思議です。やわらかな日射しの中で気持ちよさそうにまどろむ猫の真似をして、ゆったりとやさしい時間を過ごしてみましょう。

海ともっとじっくり付き合ってみたくなったら、一日漁業体験に挑戦してみるのもいいかもしれません。天然の漁場で漁師さんの手ほどきを受けながら釣りや網を楽しんで、獲れたての魚料理を存分に味わうことができます。

やさしい潮風に包まれた海のまち上関で、さまざまな海の魅力に触れてみませんか。













温もり

旬の魚介類を使ったてんぷらは、
昔と変わらない素朴なおいしさが多くの人から愛されています。

飾らないまちの素顔にそっと触れてみたい…

上関は急がずゆっくりじっくりと巡ってみたくなるまちです。急いで通り過ぎてしまっては、まちの魅力を見落としてしまいます。四季折々の自然の情景や味覚の素晴らしさは、一度では味わい尽くせない魅力でいっぱいです。

ほっとする時間を過ごしたくなったら、素朴な温もりがあふれるまちを訪れてみましょう。



室津漁協朝市を開催される皆さん

素朴な

sobuku na nukumori

**まちを散策していると、さまざまな場面で人々のやさしい心に触れることができます。
迷いこんだ路地で、ふと立ち寄った店先で、
素朴な温もりに出会うたびに、ほっと心がなごみます。
一期一会のふれあいが、かけがえのない宝物になっていきます。**

上関にはおいしい食べ物がいっぱいあります。天然の漁場に囲まれているだけあって、魚介類のおいしさは天下一品。朝市や夕市に行けば、とれたての新鮮な海の幸を手に入れることができます。

また、ふぐ料理の隠れた本場でもある上関では、刺身や鍋などのおいしいふぐ料理を味わうこともできます。新鮮な海の幸をふんだんに使った手作り料理が楽しめるレストランや、あつあつのおいしい天ぷらを販売しているお店など、地元の海の味には事欠きません。

そして、どこへ行っても出迎えてくれるのは、やさしい笑顔と温かい心のまちの人々。すれ違ったときに交わされる心温まる挨拶には、ほっと心がなごみます。

かつて厳しい海路を進む航海者にとってのオアシスだった上関は、今も旅人にとって心のオアシスとなっています。











みんなが主役

minna ga syuyaku



夜空に次々と打ち上げられる花火が海に映え、
人々の心に忘れられない夏の思い出を刻みつけます。

毎日の暮らしの中で、それぞれの仕事の中で、
みんなが、まちをよくしようと頑張っています。
まちの主役は、自分のまちを愛し、まちに誇りを持っているすべての人たち。
みんなの笑顔がまちをますます元気にしています。

一人ひとりの笑顔がまちの元気をつくり出す

上関に今も息づく歴史と文化、そして恵まれた自然。これらに人々の明るい笑顔が加わって、まちはいきいきと輝いています。上関には元気な人たちがいっぱい。イベントなどをのぞいてみると、活発な人と人との交流がまちのエネルギー源となっているのが分かります。



夏の上関は恒例の「水軍まつり」で熱く燃え上がります。昼間はフェリーによるクルージング、魚のつかみどり、夜になると、コンサートや水軍太鼓、神舞、上関大橋のライトアップ、花火大会など多彩なイベントが開催され、海のまちを思う存分満喫することができます。

冬の上関も、楽しいイベント「上関町愛ランドフェア」で盛り上がります。この催しは、町民体育館と町民グラウンドを舞台に、作品展示、舞踊などの文化芸能の発表や、バザーなどが行われる、にぎやかなふれあいの場です。

また、四年に一度行われる神舞神事などでもいろいろな人が行き来して、まちの魅力が発信されています。まちの主役は、そこに住むすべての人。一人ひとりの元気な姿から、今日も新しいまちの物語が始まっていきます。







忘れ得ぬとき、忘れ得ぬ場所
Recollection

海のまちの記憶

［鳩子の海、放映30周年］

30年ぶりに帰って見た「鳩子の海」は、昔と少しも変わっていなかった。
ロケの合間に見たここ上関の海は、幾つかの島が緑の影を落とし、潮騒の音とともに、
今もこころの奥に、忘れ得ぬときとして残っている。
忘れ得ぬ場所には、かならずと言っていいほど、優しさのちからがひそんでいると思う。
戻ってきてよかった。私の原点に。

30年ふためぐり

今から30年前、テレビドラマの中で、戦場らしき場所で子供が兵隊に助けられたシーン。大人になったヒロインが自転車に乗って紙芝居をしているシーン。また、子供の頃助けられた兵隊との再会シーン…など、記憶している人は多い。

昭和49年4月1日から昭和50年4月5日まで、NHKで放映された朝の連続テレビ小説「鳩子の海」は、広島の原爆投下など、悲惨な戦争体験から記憶を失った鳩子が、瀬戸内海の港町で育てられ、荒波にもまれながらも力強く生きていく様子を描いたドラマであった。

放映された昭和50年といえば、戦後30年にもあたる。その30年間の日本人の生活と、心の歩みを一人の女性の半生を描くものとして、ひとまとめに辿るドラマができないだろうか…。そんな思いで「鳩子の海」は生まれたという。舞台はここ山口県上関町。

ふるさとが持っているもの

上関町でのロケーションは昭和49年2月下旬。俳優の夏八木勲さん、故小林千登勢さん、鳩子の子役・斉藤こずえさん、成人役・藤田三保子さんたちをはじめとするスタッフの皆さんは、上関や室津の旅館に泊り込み、3日間のロケが行われた。この間地元の人だけでなく、隣の平生町、柳井市、田布施町からも大勢の人が集まり、町中が「鳩子」ロケに沸いたという。ロケでは、鳩子が伝馬船で砂浜に漂着するシーンや、成人した鳩子が上関の町や海岸を散歩するシーンなど、上関や室津の佇まいなどと合わせて撮影収録された。昔ながらの風景がたくさん残っているところから、ここ上関の地がロケ地に選ばれたという。それは、きっと誰もが持っているふるさとの原風景があるからではないだろうか。



「山口県」という偶然

このドラマが山口県にちなむエピソードは多い。上関の吉村参蔵さんという老人が、若い頃から書き続けた日記からドラマの背景になるヒントが得られ、脚本の中に生かされたという。おそらく吉村さんがいなかったら、当時の臨場感はなかったかも知れない。また出演者の故小林千登勢さんの山口弁のせりふの巧さも、母親が山口県平生町の出身で、子供の時から聞きなれた母親の方言が大いに役立ったようだ。鳩子の成人役の藤田三保子さんは山口県防府市出身で俳優座に所属し、三百人の候補者の中から抜擢された。また、毎日画面に登場した「鳩子の海」のタイトル文字は堀桂琴さんの書で、この方も山口県の出身という。

ロケ当時、上関町役場では「鳩子係」を設け、経済課係長、国行研一郎さん（現73歳）が資料を準備して、殺到する問い合わせや観光客に対処された。その献身的な努力に感激した制作スタッフは、登場人物の先生の名に、国行の苗字を使って感謝の意を表したといわれている。

鳩子の存在感は強烈だった

海岸ロケは冬の2月。しかしドラマの設定は敗戦直後の夏。薄着のヒロインは寒さの中で震えていたが、本番になると役になりきったという。

ロケから1ヶ月半後の4月上旬には放映第1日目を迎え、画面の中の鳩子の存在感は強烈だった。その日から幼少時代の鳩子を演じた斉藤さんは、お茶の間の人気を一人占め。平均47・2％という高視聴率であったというから、鮮烈な、また懐かしいシーンとして記憶に残っている人は多いはずだ。

斉藤さんを懐かしむ地元の人はたくさんいる。その名が「鳩子てんぷら」の製造元、原田博之さん（現73歳）もその一人。「撮影が始まる朝方は、てんぷらがちょうど揚がる時間で、熱いできたてをスタッフに差し入れたり、買ってもらったりしていました」と、ロケ現場の厳しさをよく知った方ならではのふるまいだといえる。

優しさのちから

放映から30年たった昨年夏、上関町では主役であった斉藤さんを招いてのイベント、「上関水軍まつり」が盛大に行われた。

斉藤さんはライブの中で、「昔の『鳩子』になってここに帰ってきました。呼ばれてうれしい。感じやすい年齢の頃、見知らぬ土地で温かく迎えられ、心の中に人への基本的な信頼感が生まれました。それは、『鳩子の海』のロケ体験があったからこそ、温かく迎えてくださった地元の人たちとのふれあいがあってこそ、そのことが今もこころの糧なんです。いつかは戻りたかった。私の原点ですから」と、30年前の記憶の熱い思いが伝わった。

当時、地元の人たちは通行人として出演するなど、町長ほか町をあげての「鳩子」に協力を惜しまなかった。俳優、制作スタッフ、町民が一つとなって、ふるさとを舞台に、私たちのこころに残るシーンを生み出してきた。そこには温かさ、優しさが滲み出ていたような気がする。

古くから住み慣れている町民にとっても、斉藤さんにとっても、「鳩子の海」は、忘れ得ぬとき、忘れ得ぬ場所となっている。

まつりは上関水軍太鼓で幕が開け、鳩子によって、みんな往時を思い起こそうとしていた。


上関町でのロケ風景




水軍まつりでライブを行う
斉藤こずえさん

NHK朝の連続テレビ小説
「鳩子の海」
放映期間:昭和49年4月1日～昭和50年4月5日
脚本:林秀彦
出演:斉藤こずえ・藤田美保子・小林千登勢
夏八木勲・池波志乃・樋浦勉・吉田義夫・滝奈保栄
宮沢奈穂美・森下哲夫・岡田祐介他



A Future Design & A Plan

未来構想・プラン






花咲く海の町・上関

「歴史に学び、伝える」「海とともに、人とともに」

目標 あたたかく、いきいきと、のびやかに、うるおいのある町

上関は、海の恵みを受けて独特の歴史・文化・風習を育んできました。
海の恵みは、上関の大きなエネルギーです。
その歴史や海の恵みを未来にむけて、人と人、地域と地域、過去と未来、海とまち、島とまち・・・。
上関の様々な資源と人とがしっかりと絆をつくることにより、
上関の花（華）を咲かせたいと考えます。
上関は、町民はもちろん、出身者や来訪者とも力を合わせ、
あたたかく、いきいきと、のびやかに、うるおいのある町―「花咲く海の町・上関」をめざします。

施策の方向

Medical Treatment, Health, and Welfare
健康で暮らせるまちづくり

Environment, and Infrastructure Improvement
安全で快適な生活基盤づくり

Industry
魅力ある産業づくり

Education, and Culture
豊かな創造性を育む人づくり

Area Culture
新たな歴史・文化を築くまちづくり

医療・保健・福祉

健康で暮らせるまちづくり

思いやりのこころ

子供からお年寄りまであらゆる人が
安らぎと潤いに満ちた毎日を送っていけることが何よりも大切です。
心身ともに健康で生きがいのある生活は
安心して暮らせるまちづくりから生まれます。

超高齢化社会の中での高齢者福祉の在り方は、全ての人々が協同して高齢者を支える地域づくりを基本に、「生きがいづくり」、「在宅ホームサービス」、「福祉ボランティアの拡大」といった福祉対策の実現を目標としています。

町民一人ひとりの相互扶助の精神に支えられたボランティア活動を多様化させ、社会福祉協議会や保健センターを中心とした保健・福祉ネットワークづくりを推進し、健康増進、予防医療や救急医療体制の充実・整備、福祉体制の確立を図っています。

全町民が生涯幸せな生活を送るために、「自分の健康は自分でつくる」という自覚の啓発に努め、より健康かつ快適、そして安心して生活できる町づくりを目指しています。


❷


❶


❸


❹


❻


❺

❶❷ 愛・ランドかみのせき走ろう大会
❸ 四代地区敬老会
❹ 1歳6ヶ月・3歳児検診（保健師による発育・発達状況の問診）
❺ 栄養士による個別の栄養指導
❻ 乳児検診

まちを語る人々 ①

利用者の安全を第一に考えたサービスを

上関町デイサービスセンター生活指導員
卜部　竜一さん



上関町デイサービスセンターでは、在宅の要介護状態または要支援状態にある高齢者に、入浴、昼食、健康チェック、リハビリ、レクリエーション、送迎などの各種サービスを提供しています。サービスを提供する上でなにより大切なのは利用者の安全です。安心して利用していただくことに配慮し、利用者・家族に満足していただけるサービスの提供と、楽しく喜んでいただけるレクリエーションの考案を心がけています。

デイサービスについて地域の皆様に理解していただき、利用者一人一人のニーズに応えられるようにしていきたいと思います。

自然豊かで人情味あふれる上関が、これからも若い人からお年寄りまで、すべての方が住みやすく、福祉の充実したまちであってほしいと思います。

環境・基盤整備

安全で快適な生活基盤づくり

季節の花にあふれて

心に潤いを与えてくれる季節の花々は快適な生活に欠かせないものです。
町民みんなが手を携えて
まちじゅうで色とりどりの花を育て
自然豊かで潤いのある生活空間を作り上げています。

本町は2つの離島を擁し、平坦地が少ないため限られた低地に密集した集落が形成されています。

そのため、より効果的で長期的視野に立った土地利用が求められています。交通道路網や情報網、港湾の整備、住宅や商工業用地などの都市的土地利用、観光レクリエーションゾーンの整備を進めています。

一方自分たちの町を自分たちで快適にしようと、老人クラブや子ども会、花づくりグループ、婦人会のリサイクル活動が盛んになっています。

花づくりやゴミの減量・再資源化を進め、美しく恵まれた自然環境とともに、快適かつ豊かで潤いのある環境まちづくりに取り組んでいます。


❶


❷


❸


❹


❺


❻

❼

❶ 花苗の配付
❷ 桜の咲いている様子
❸ 花づくりグループによる花苗の植込み
❹ 上関海峡付近の花壇
❺ 福浦町営住宅
❻ 交通安全キャンペーン
❼ 消防出初式

まちを語る人々②

花が映える海のまちづくりをめざして…

花いっぱい運動リーダー
内藤 知佐子さん



町内の沿道の花壇や遊休地の花壇、家庭の花壇などに花を植え、花いっぱいのまちづくりを進めています。年2回の花の植え替え、草取り、水やりが主な活動内容で、夏場の水やりや草取りはなかなか大変ですが、花づくりを通して人々の心の輪が広がればと頑張っています。

今後も花づくりの活動を老人クラブや婦人会など地区内の人々と楽しく進めていきたいと思います。上関は住んでいると何も思わないけれど、外に出て帰って来た時に何となくほっとするまちです。

これからも、みんなが楽しく暮らしていけるような心と心がかよいあうまちであってほしいと思います。



産業

魅力ある産業づくり

まちの財産を活かして

豊かな暮らしを支えるためには
人、物、情報が集まる活気あるまちであることが必要です。
まちの未来が元気いっぱい輝くように
海のまち上関の豊富な財産を生かした限りない挑戦が続いています。

「花」と「海」と「歴史」をテーマにした観光を起爆剤とした産業振興を目標とし、現代の観光ニーズに対応した施設づくり・PR戦略を行ってより質の高いものを目指し、多くの人々が訪れる「かみのせきまちづくり」を進めています。

中でも基幹産業である漁業は、恵まれた環境を最大限に活かすため、稚魚の飼育、放流、魚礁の設置など一環した海洋資源を育む力を増大させ、施設や流通機能の整備に取り組み、観光漁業などで明日の漁業を担う若者が定着する魅力ある産業を目指しています。

活力あるまちづくりを推進しながら各種産業の再編強化を図り、豊かさと活力に富んだ「生活産業まちづくり」を進めます。


1


2


3


4


5

❶ 中の浦での地引網
❷ シーパラダイス地引網
❸ ボランティアによる日本水仙球根の植込み
❹❺ 栽培漁業センター

まちを語る人々③

栽培漁業の拠点として漁業を活性化

光・熊毛地区栽培漁業センター所長
岩本 哲二さん



光・熊毛地区栽培漁業センターでは、クルマエビ、マダイ、トラフグ、クロダイの4種を中間育成し海へ放流する栽培漁業を中心とした事業を行っています。クルマエビとトラフグについては、中間育成の後の養殖も行っています。

当センターは平成14年に発足したばかりの施設ですが、適所適種をめざして、育成の場所、種苗配付に対する漁獲量、蒔く種苗の健全性などのレベルを高めながら、この地区に適した事業が行えるように努めています。



食生活の魚離れや後継者の問題など漁業が抱えるさまざまな問題を視野に入れながら、天然漁業を補う栽培漁業の拠点として漁業の活性化に貢献していきたいと思います。

教育・文化

豊かな創造性を育む人づくり

夢、ふくらませて

子供たちの元気はつらつとした姿は
夢や希望、未来への無限の可能性を感じさせてくれます。
さまざまな出会いやふれあいによって
のびのびとして個性的で創造力に富んだ子供たちを育てていきます。

急激な勢いで変わる社会の中で、教育は豊かな感性と創造力を研く人づくりの一環として位置付けられ、一人ひとりの個性と能力を伸ばす柔軟な教育を進めています。

学校等の施設の充実はもちろん、学校教育を生涯学習の一分野として郷土の自然や歴史・文化・産業などを題材とした特色のある学習を取り入れ、故郷を愛し、ふるさとを育てる人材の育成に努めます。

また本町はかつて海とのかかわりで発展を遂げ、世界の海を活躍の舞台としていた歴史を持っていますが、近年ますます高まる国際化の中、世界的な視野で物事が考えられる人材の必要性が高まっています。

生まれ育った上関町の歴史・文化を豊かな環境の中で郷土愛を育み、国際化社会に対応するための心豊かな人づくりを目指しています。


❶


❷


❸


❹


❺


❻


❼

❶ 町民グランドでサッカー
❷ 小学校児童による花づくり
❸ 上関中学校コンピュータ授業
❹❻❼ 八島にて教育キャンプ
❺ 八島にて交流会



まちを語る人々④

ボランティア活動で地域に貢献したい

高校生ボランティア活動リーダー
村上 浩子さん



公民館で、「読み聞かせの会」や広報の音読活動等を中心としたボランティア活動をしています。「読み聞かせの会」では、子ども達に楽しんでもらうにはどうしたらよいかを考えながら、毎回内容選定や台本作り等に苦心しています。

今後もいろいろ工夫を重ねていって、年齢を問わず多くの方々に楽しんでもらえるような会にしたいと思っています。

上関は山海の自然に恵まれた美しいまちなので、“開発”することも大切ですが、自然を最大限残す形で考えてほしいと思います。ふるさとが豊かな自然とやさしい心のあふれる“癒しの町”になることを願い、私たちも地域に密着した活動を続けていきたいと思います。

地域文化

新たな歴史・文化を築くまちづくり

海に学び、育む

物の豊かさから心の豊かさへ価値観が大きく変わった現在求められているのは生きがいのある暮らしです。文化・スポーツ活動などを通じて人と人との交流が広がり、毎日がより充実したものになっています。

本町は古くから数多くの歴史の舞台となった場所であり、豊かな自然とその歴史的・文化的遺産も数多く残っています。各地の集落も、往時の景観を残しており、町全体が歴史的遺産と考えられています。

海とのかかわりの中で培った豊かな歴史や海の自然・生態等を現在の科学・技術等の知見を取り入れながら、新しい海の時代を拓くべき海の学習・教育に力を入れていきます。

また、開かれた地域づくりを目指して町民の文化・芸術活動を奨励し活発化させ、その拠点づくりを進めていきます。

「かみのせき」の独自性を押し出し、自然景観の保全を保ちながら、美しい町土を後世まで伝えていくことに努めていきます。


❶


❷


❸

❶ 小学校運動会
❷ 公民館まつり・竹馬づくり
❸ 小学校運動会
❹ 水軍まつり・魚のつかみどり
❺ 公民館まつり・親子料理教室
❻ 水軍まつり・球根つかみどり
❼ 水軍まつり・鳩子の海写真展
❽ 水軍まつり・万葉クルーズ


❹


❺


❻


❼


❽



まちを語る人々⑤

全町民が一つになってイベントを開催

上関水軍まつり事務局
角田　五明さん



緑豊かで無限の可能性を秘めたわがまち上関の自然環境と歴史的文化遺産を利用し、平成3年から「上関水軍まつり」を開催しています。町内各種団体が一つになって行うこのイベントも、今年で14年目を迎えます。山口県の最南端に位置する上関町は、交通アクセスが悪く、駐車場が少ないため、ご迷惑をおかけしている点も多々ありますが、まつりには毎年県内外からの多くの来訪者がありにぎわっています。

これからも“おもてなし”の心を忘れず、官民一体となって全町民あげた最大イベントとして「水軍まつり」を位置づけ、上関探求と見直しによるイメージアップを図り、広く県内外の観光客にアピールしていきたいと思います。





浪漫海道歴史紀行

海と時を超えて

百七十メートルの海峡に秘められた数々のドラマ

遣随使、遣唐使、遣新羅使、遣明使、朱印船、シーボルト船など、日本と世界を結ぶ船が航行した上関海峡。
ここまた、源平合戦、南北朝の動乱、明治維新などの舞台ともなり、さまざまな人々の足跡が刻まれています。

朝鮮通信使上関来航図

キヨソネ作シーボルト肖像画
シーボルト記念館所蔵

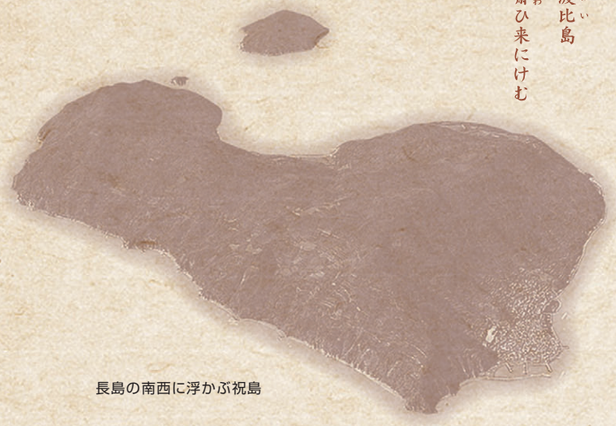
坂本龍馬肖像画
高知県立坂本龍馬記念館所蔵

家人は帰り早来と伊波比島
斎ひ待つらむ旅行くわれを

草枕旅行く人を伊波比島
幾代経るまで斎ひ来にけむ



万葉の碑



長島の南西に浮かぶ祝島

航海の安全を祈願して

四方を海に囲まれた島国日本にとって、海上交通の歴史は国の歴史と切り離すことができません。瀬戸内海は古くから日本の都と九州、中国や朝鮮を結ぶ海上交通の大動脈として発達し、そのまっただ中に位置する上関は交通の拠点として重要な役割を果たしてきました。

上関町の南端、周防灘に浮かぶ祝島。この周囲12キロほどの小さな島は、古来より行き交う船の航行安全を守る神霊の鎮まる島として崇められてきました。祝島から姫島を経由して国東半島へ至る航路が先史・古代においては最短のコースで、祝島は西下する時の最後の中継地だったようです。

大和朝廷の役人達は朝鮮半島の新羅に向かう際、瀬戸内海を進む途中で上関に寄港しました。『万葉集』には祝島（伊波比島）に航海の安全を祈願して詠んだ歌が記されており、祝島にはその歌碑が建立されています。

さまざまな人の思いを運ぶ海

祝島は蓬莱島伝説が伝えられる島でもあります。今から２００年以上も昔、秦の始皇帝の使い徐福は、「神々が住み、不老長寿の霊薬が実る楽園」と信じられていた蓬莱島をめざし、多くの供を伴って日本に辿り着いたといわれます。彼らは祝島にも不老不死の果実コッコーを求めてやってきたと伝えられ、こうした伝説の中にも海を超えたロマンがうかがえます。

遣随使・遣唐使、朝鮮への遣新羅使など、古代より都から他国へ向かう船が必ずといっていいほど立ち寄っていた上関。その後も歴史上で重要な交易の中継港としてその名を知られています。

平安時代には平清盛による日宋貿易、室町時代には守護大名大内氏による日明貿易が行われ、上関をはじめとした各港に配された船が遣明船として用いられたと記録に残っています。

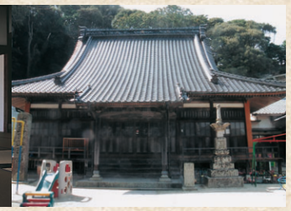
日本の歴史上にはさまざまな合戦が登場し、海上でも数々の戦いが繰り広げられてきましたが、上関海峡は源平合戦の舞台となりました。１１８５年、屋島の戦いで源義経に敗れた平家は、壇ノ浦へ向かう途中で上関海峡を通過する源氏を待ち伏せして反撃を試みましたが、かなわず落ち延びていきました。町内には平家の落人の霊を慰めるために積まれたといわれる平家塚があります。また、八島にも「船かくし」という地名があり、平氏の船を引き揚げて隠したという言い伝えが残されています。



コッコーの実


御茶屋の石垣の一部


旧上関番所


阿弥陀寺

668年に渡ってきた最初の使節

日本と朝鮮との交流は、両国間を往来する航海技術が確立されて以来続いてきたものです。朝鮮からの最初の使節が日本を訪れたのは668年のことで、以来8世紀後半まで交流が続きます。豊臣秀吉の朝鮮出兵により一時途絶えたものの、秀吉亡き後、関ヶ原の戦いで勝利した徳川家康が朝鮮との和平交渉を重ね国交が再開されました。

1607年、朝鮮国王の国書を持参した使節団が日本を訪れ、これが記念すべき第1回の朝鮮通信使となりました。

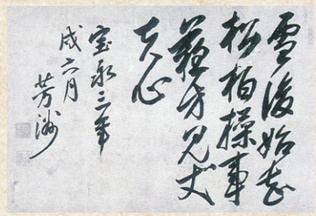
通信使とは「信（まこと）を通わす使い」という意味で、友好の使節を表すものです。江戸時代、徳川幕府は国を閉ざして外国とのつきあいを禁じていましたが、朝鮮とは長きにわたって友好関係が保たれました。朝鮮通信使は徳川幕府の将軍が代わった折などに来日していますが、第1回目の1607年から最後の1811年までの200年余りの間に12回の来日があり、そのうちの11回は上関を通過して江戸へのぼっています。

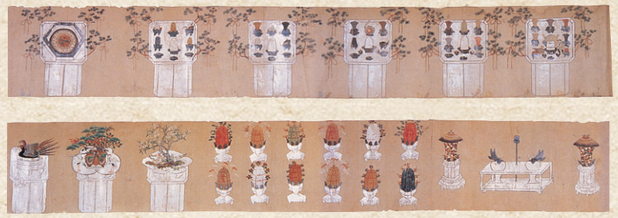
住民総出で朝鮮通信使を歓迎

朝鮮を出発し瀬戸内海航路を通過して江戸へ向かう朝鮮通信使の旅路は、往復半年にも及ぶ長いものでした。その長旅の航路上にあった上関は、碇泊地としては非常に重要な役割を担っていました。

朝鮮通信使はその名の通り平和外交と文化交流を目的とした使節で、高名な医学者や文学者、宗教家などが同行していました。上関に滞在中も日本と朝鮮の両国を代表する学者や文人がお互いの詩文を披露しあうなど、盛んに文化交流が行われました。特に1719年の第9回目の朝鮮通信使来日の折には、対馬藩から同行した儒学者・雨森芳洲と通信使の申維翰の間に強い友情が結ばれました。

滞在中の使節団の接待には住民が総出であたり、大々的なもてなしが行われました。宿泊はもちろん、食事や警備にも多くの費用と労力が惜しみなくそそぎ込まれ、その歓待ぶりは好評だったようです。使節団の記録にも「長門藩の御馳走、西国筋にて一番結構なり」と食事の味を賞賛する言葉が記されています。当時のメニューによると、海の幸の他に、鹿、猪、キジ、カモなども食材として使われていたようです。


雨森芳洲の詩


朝鮮通信使の宴応食



対馬に向かう朝鮮人渡海船

朝鮮通信使関係年表

回数	年代	総人数
1	1607	467
2	1617	428
3	1624	300
4	1636	475
5	1643	462
6	1655	488
7	1682	475
8	1711	500
9	1719	479
10	1748	475
11	1764	462
12	1811	336

まちに残る通信使の足跡

朝鮮通信使は1回につき約300～500人が来日する大きなもので、警備も含めると数千人になりました。千隻にも及ぶ大船団が上関海峡を通って江戸へ向かう情景は「朝鮮通信使上関来航図」などの絵図にも描かれており、当時のまちや船団の様子を伝える大切な史料です。鮮やかな色彩の船やあでやかな衣服をまとった使節たち、彼等が見せる華やかな踊りや音楽は当時の人々の心を躍らせるものだったことでしょう。

通信使の宿泊所としては、御茶屋、御客屋、阿弥陀寺、超専寺、明関寺などが利用されました。正使、副使、従事官の主賓は御茶屋に宿泊し、その他の下士官や随行の人々は階級ごとに分けられ、寺社や民家に分宿しました。


上関小学校に残る石垣と石段

御茶屋は参勤交代のときに藩主の宿として利用された建物で、参勤交代の諸大名、幕府の使者、朝鮮通信使などを迎える迎賓館のような役割を持っていました。建物は既にありませんが、本門付近の石垣の一部が今も残されています。また、通信使接待の総責任者の本陣として用いられた超専寺には、上関に立ち寄ったことのあるシーボルトの紀行文や「朝鮮通信使上関来航図」など貴重な史料が所蔵されています。超専寺の石段を登ったところにある山門は、かつて御茶屋にあった副門が移設されたものです。明関寺の跡地は現在上関小学校の敷地として使われ、当時の石垣と石段が残されています。

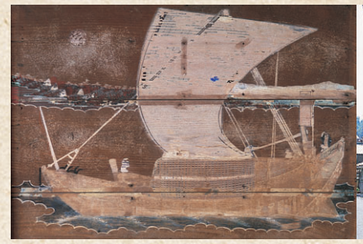
往復半年も旅した友好の使節

上関を後にした朝鮮通信使の一行は、潮待ち・風待ちのために要所要所の港に立ち寄り、土地の人たちと交流を重ねながら大阪に向かいました。そこで幕府が用意した御座船に乗り換えて淀川をさかのぼり淀に上陸します。その後、陸路を進み、京都を経て東海道を通り江戸に入りました。異国の衣装に包まれた一行が華やかな音楽に乗って進んで行く様子は、沿道の観衆の目を充分楽しませるものでした。江戸城では将軍と対面し、国書を提出して丁重なもてなしを受けました。

江戸への途上で人々の心をとらえた華やかな行列の様子は、絵に描かれたり、民芸品の人形になったりして今も残されています。また、各地で披露した踊りも地域の祭りとして伝えられています。




朝鮮通信使行列絵巻


住寿丸


今も残る町並み


旧上関番所

北前船が寄港した商業のまち

海のまち上関が全盛期を迎えたのは、商品の集積地として栄えた江戸時代から明治時代にかけてです。上関にはその頃瀬戸内海で盛んに生産されていた塩、紙、ろうなどの特産品や、東北・北陸からの物産が多数集まりました。港には各地の北前船が立ち寄り、越荷会所を通じて商品の取引きが行われました。港の周辺には料亭や商店、問屋がたち並び、出入りする船乗り達で繁盛しました。

上関は毛利本藩の直轄領であったため、御茶屋、番所、越荷会所などいろいろな藩の公館跡があります。旧上関番所は、港の警備、見張りのほか、越荷会所で扱う積荷の検査や税金の徴収などを行った役所です。1632年に四代に置かれましたが、1711年に上関に移されました。現在は県立熊毛南高上関分校グランド西側に移築・復元されています。

町割も基本的には江戸期と大きく変化しておらず、町並みには今も北前船で栄えた商家が現存し、廻船問屋が軒を連ねた江戸期の面影を彷佛とさせます。


上関砲台跡


四境の役・上関海峡の様子


吉田松陰

維新の志士たちも数多く来訪

幕末には、桂小五郎、高杉晋作、坂本龍馬をはじめとする維新の志士達も上関に立ち寄っています。志士達の多くが宿泊したのが萩藩の本陣であった肥後屋です。ここには1863年の政変で萩藩領に下った三条実美ら七卿のうちの五卿も宿泊しています。

萩で松下村塾を開いて子弟の教育につとめ、先進的な思想を広めるために各地を旅した吉田松陰も上関にその足跡を残しています。上関大橋のたもとには、松陰が長崎へ行く途中に詠んだ詩碑が建てられています。

幕末から明治維新に至るまでの時期には、上関は歴史の節目となる戦乱の場となりました。1866年、幕府が長州藩に対して征長軍を派遣し、四境戦争が起こりました。この時、国境4箇所のうちのひとつ大島口の戦いで海峡の守備を担ったのが上関砲台です。また、西方寺本堂には義勇隊や鴻城軍が駐屯し、隊士達が付けた刀傷が今も本堂の柱に残っています。

そして、海のまちは今…

明治時代以降、陸路の発達や動力船の出現により、海上交通の中継地としての上関の役割は帆船時代ほど重要ではなくなってきました。しかし、上関海峡には今もなお1日に千隻もの船が行き交い、昔と変わらぬ海の道の姿を見せています。



現在は、観光漁業、釣り、海水浴、マリンスポーツなど、交通以外の方面にも海の役割が広がり、海のまち上関は、時を経てもなおその魅力を失わず、人と人とのふれあいの場として人々を魅了しています。

上関の町並みを歩きまちに残る史跡や史料を訪ねてみると、海とともに歩んできたまちの歴史がうねる波の間から甦ってくるようです。海峡を行き来した多くの人たちの思い、そして彼らを迎えた人たちの思いは長い時をかけてまちの中に溶け込み、いつまでも色褪せることなく受け継がれています。

ライトアップされた上関大橋と上関海峡

見どころ満載！上関町

周防灘三海関の一つである上関町は、山口県の南東端に位置し、北は室津半島、南は周防灘に面しています。
古くから海上交通の要衝として、町の経済活動も文化交流も海を舞台に行われてきました。
瀬戸内の海と島々が織り成す自然美にあふれ、歴史に育まれ、また人情味豊かな町です。

祝島への定期便

行き	1便	2便	3便
柳井港	-	9:30	15:30
室　津	5:50	10:00	16:00
上　関	-	10:05	16:05
蒲　井	-	10:15	16:15
四　代	-	10:25	16:25
祝　島	6:18	10:40	16:40

帰り	1便	2便	3便
祝　島	6:25	12:30	17:00
四　代	6:40	12:45	17:15
蒲　井	6:50	12:55	17:25
上　関	7:00	13:05	17:35
室　津	7:05	13:10	17:40
柳井港	7:35	13:40	-

問い合せ先　上関航運（有）☎0820-62-0102

八島への定期便

行き	1便	2便	3便
上関発	6:15	10:00	16:30
室津着	6:18	10:03	16:33
室津発	6:20	10:05	16:35
八島着	6:50	10:35	17:05

帰り	1便	2便	3便
八島発	6:55	13:00	17:10
室津着	7:25	13:30	17:40
室津発	7:35	13:32	17:42
上関着	7:38	13:35	17:45

※7・8月は、行き・帰りとも第2便、第3便は古浦へも発着します。

問い合せ先　上関町役場産業振興課☎0820-62-0315

上関みどころ12選　上関町に来られた際には、ぜひ立ち寄っていただきたいおすすめのスポットです。


❶ 四階楼


❷ 常満寺の大銀杏


❸ 皇座山稲荷


❹ 吉田松陰詩碑


❺ 上関大橋


❻ 東山遊歩道


❼ 上関砲台跡

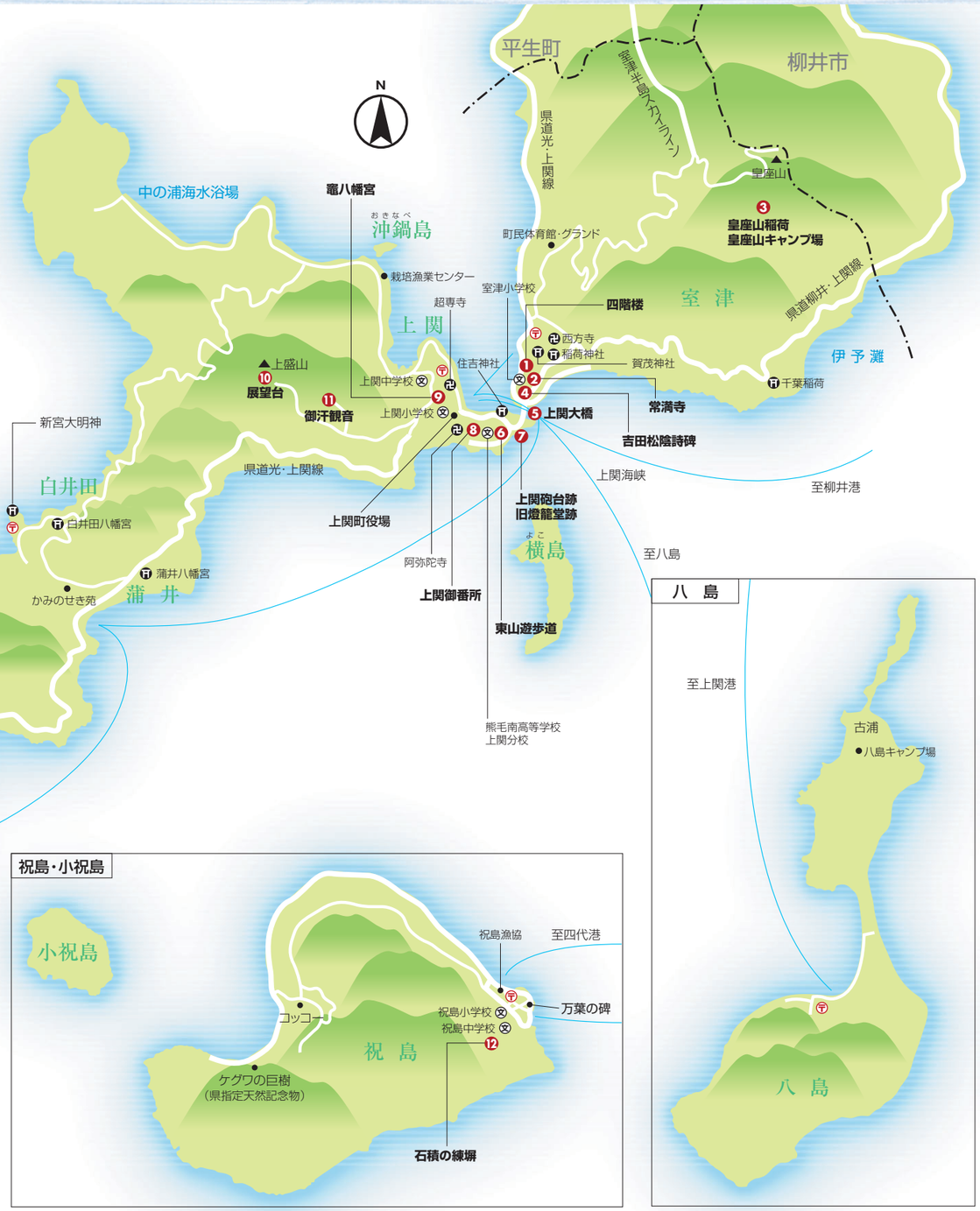

❽ 上関御番所


❾ 竈八幡宮


❿ 上盛山展望台


⓫ 御汗観音


⓬ 石積の練塀



上関町へのACCESS MAP



広島方面より　広島市より車で約1時間半
山陽自動車道　熊毛・玖珂インターより車で50分
バス　防長バス　柳井－上関 1時間に1便程度/所要時間1時間
町営バス　室津－蒲井 1日3便（中の浦・白井田経由）/所要時間35分
室津－四代 1日3便/所要時間25分
室津－大津 1日3便/所要時間15分

歴史探訪に、
釣りやキャンプなど、
思い思いに上関を
満喫してください。

町花/野地菊　町木/柏槙　町魚/鯛

行政・議会

町民の声を反映した魅力あふれるまちづくり

対話から町民参加へ

まちの主役は一人ひとりの町民です。
町民の自由な発想を取り入れ、さまざまなニーズを反映させ、
町民とともに歩むことで
誇りの持てるふるさと上関町が創り出されます。



議長/佐々木 襄



副議長/山谷 良数

まちづくりにおいて、まず出発点となるのがいま自分たちの住んでいる町をどう感じ、何を求めているのかを的確につかむことです。住民参加を基本の町づくりに、住民の意思を十分に反映しながら進め、いっそうきめ細やかなコミュニケーションを図り、行政への参加の機会を拡大するとともに広報公聴活動などにより住民の自覚を高めるよう努めています。

その住民の声を町政に反映させる上でもっとも重要なのが町議会であり、身近な問題から長期的な町づくり構想まで、様々な審議を行っています。町議会は町民の意志を行政に反映させ、町の将来を決定する大切な機関であり、より質の高い行政サービスに心がけ、合理的な行政システムの確立を目指しながら、地域社会の変化・発展にも十分応えて行けるよう、適正な計画を確立し、いっそう効率のよい町政運営が行えるよう努力しています。



4役（右から 柏原重海町長/下村正和助役/川崎茂昭収入役/立野正幸教育長）



上関

資料編

DATA of KAMINOSEKI



町のあゆみ History
自然 Nature
人口 Population
産業 Industry
建設 Construction
民生 Public Welfare
教育 Education
衛生 Health
消防 Fire Fighting
選挙 Election
財政 Finances
行政 Administration

上関町46年の足跡

History of KAMINOSEKI TOWN

町制施行から今日まで

昭和33年2月、上関村、室津村が合併して上関町は誕生しました。
今日まで46年間、行政機関の努力と町民の理解と協力を得て、幾たびの壁を乗り越えながら発展してきました。
未来への町の目標が成就された46年の足跡です。

昭和33年
2月 上関、室津村が合併し、上関町となる町制施行
上関町広報「かみのせき」第1号発刊

昭和34年
6月 皇座山道路開通
9月 上関婦人会、台風15号の三重県罹災者に救援物資発送
12月 八島に電灯がつく

昭和35年
4月 上関町章設定。町営渡船（室津－上関線）開通
八島灯台無人化
（この年、上関漁協　真珠養殖事業を開始）

昭和36年
2月 町営住宅（上関・室津地区）完成
4月 上関町商工会発足
（この年より上関町内地籍調査開始（39年まで））

昭和37年
4月 熊毛南高校上関分校、全日制になり普通科のみを置く
7月 橋本知事、祝島・八島を視察
3月 白井田小学校改築工事完了

昭和38年
9月 国民健康保険組合、保健婦を設置

昭和39年
1月 町議会事務局を設置
2月 上関・室津森林組合が合併し、上関町森林組合として発足
3月 上関漁港（本港）完成

昭和40年
4月 祝島出張所を支所、四代出張所を分室に改める
上関簡易水道を町営移管

昭和41年
2月 周東環境衛生組合発足
3月 八島－上関簡易水道施設完成
4月 上関・室津農協が合併し、上関町農業協同組合として発足
12月 蒲井地区県道直結道路完成
蒲井公民館完成

昭和42年
3月 共同テレビ受信施設完備（加入者193戸）
10月 上関大橋起工式

昭和43年
3月 上関町福祉センター、へき地保険福祉館完成
4月 隔離病舎組合発足

昭和44年
6月 上関大橋完成、開通式
8月 「上関丸」が八島航路へ就航
9月 上関～長浜（愛媛県）フェリー就航
上関中学校統合校舎起工式
10月 防長交通のバス、上関への運行開始
優良町村として全国町村会会長より表彰

昭和45年
1月 上関（白井田）漁港完成
3月 消防自動車購入
4月 過疎地域・広域市町村圏に指定
8月 上関中学校統合開始（スクールバス2台購入）

昭和46年
4月 祝島公民館完成
6月 国土調査優良町村として全国国土調査協会会長より表彰
8月 上関・室津（志田）簡易水道工事完成
3月 柳井地区広域消防業務開始
5月 老人家庭奉仕員（ホームヘルパー）を設置

昭和49年
2月 NHK連続ドラマ「鳩子の海」のロケーション
11月 公民館まつり始まる

昭和50年
4月 商工会青年部発足
7月 祝島歯科診療所開設
11月 町民大運動会始まる
10月 巡回教養講座開催

昭和51年
11月 「祝島神舞神事」が県無形文化財に指定

昭和52年
4月 敬老年金支給開始
7月 町営渡船（室津－上関線）廃止
上関中学校プール完成

昭和53年
2月 町木（柏槙）、町花（野地菊）を制定
7月 異常渇水で由宇町、大和町からの大量の水を購入
9月 祝島簡易水道に海水淡水化装置を設置（1日25トン2基）

昭和54年
3月 室津桟橋設置
町営第2竹の浦住宅完成
7月 「離島健康のつどい」平井知事が祝島へ来島

昭和55年
3月 志田集会所完成
八島地区の一般加入電話開通
上関町保健センター完成

昭和56年
1月 ゴミ運搬車購入
2月 八島地区高齢者ミニュニティセンター完成

昭和57年
6月 上関港浮桟橋設置
3月 上関町民グランド完成

昭和58年
11月 八島ヘリポート基地完成
12月 上関町民体育館完成
7月 へき地歯科診療所（上関・祝島）、診療を再開
室津皇座スポーツ少年団結成

昭和59年
10月 室津皇座スポーツ少年団結成
12月 上関町基本構想策定
6月 町議会が「原子力発電所立地の事前調査に関する請願」を採択
10月 中国電力へ事前調査を申し入れ

昭和60年
12月 上関町基本計画策定
3月 上関町健康マラソン大会始まる
新造船「上関丸」就航
9月 町議会が原子力発電所誘致を決議
10月 町長が中国電力に対して原子力発電所誘致の意向を表明

昭和61年
3月 八島小学校廃校
4月 祝島～柳井航路、「ことしお」に代わり「わかしお」就航
町政懇談会始まる
8月 原子力発電所立地に伴う「地域振興ビジョン」を作成

昭和62年
1月 町営バス（上関～戸津～白井田線）運行開始
8月 上関皇座スポーツ少年団　第7回全日本学童軟式野球大会に準優勝
11月 町民憲章制定、町魚（鯛）決定
7月 「上関町史」の頒布開始
八島観光キャンプ場開始
12月 「原子力発電所立地推進本部」発足

昭和63年
5～6月 ふるさと創生のアイディア、アンケート実施
8月 「海上部の立地環境調査」を中国電力（株）申し入れ
10月 「第19回山口へき地教育研究大会」白井田小で開催
11月 「第1回愛・ランドフェア」始まる

平成元年
9月 「上関町過疎地域活性化計画」議会で承認
10月 住民票の電算化スタート
11月 「上関町児童遊園」が開園（第2回愛・ランドフェアで）

平成2年
11月 「土曜朝市」オープン

平成3年
6月 「第1回上関水軍まつり」始まる
7月 台風19号、町内全域で大きな被害
9月 室津漁協青壮年部全国漁業協同組合連合会会長賞を受賞

平成4年
3月 中の浦マリンスポーツランド休憩所完成
6月 上関皇座スポーツ少年団　第13回山口県少年野球大会優勝
8月 第12回全国学童軟式野球選手県体会ベスト8
9月 上関町中学校健康優良児校表彰
平井知事　祝島を視察

平成5年
12月 町民グランドナイター施設完成
1月 上盛山展望台完成
新婚者住宅（4戸）完成
3月 四階楼、山口県指定有形文化財に指定
5月 室津漁協青壮年部「アクティブ山口ヤング賞」受賞
6月 台風・大雨により甚大な災害発生
7月 祝島離島健康のつどい
8月 老人スポーツ大会
10月 優良「こども銀行」大蔵大臣・日本銀行総裁表彰　祝島小・中学校

平成6年
12月 白井田文化福祉センター竣工
2月 町議会議員一般選挙
7月 山口県離島青年会議（祝島）
9月 「かみのせき丸」竣工式（就航11月）

平成7年
3月 光・熊毛栽培漁業センター起工式
4月 室津斎場使用開始
7月 上関御番所復元工事竣工式

平成8年
8月 上関皇座スポーツ少年団　全日本学童軟式野球大会出場
11月 中国電力（株）より上関原子力発電所建設申し入れ

平成9年
6月 老人福祉施設（蒲井）造成着工
7月 二井知事祝島にて懇談会
11月 町制40周年記念式典
11月 熊毛南上関分校創立50周年記念式典
12月 老人福祉施設（蒲井）建築着工

平成10年
3月 四代小学校休校式
4月 四代小学校児童が上関小学校へ編入
5月 室津半島スカイライン全通開通
7月 戸津地区浄化センター通水式
9月 ほのぼの活性化センター落成式
10月 池の浦トンネル開通式
11月 上関中学校統合30周年記念式典
祝島航路公営化

平成11年
2月 上関町本部消防機庫新設
祝島東消防機庫新設
4月 高齢者保健福祉施設（蒲井）オープン
原子力PR館「海来館」オープン
原子力環境影響調査書提出・縦覧
6月 かみのせきハイツ落成式
8月 町ホームページ開設
9月 上関原子力発電所環境影響調査に係る公聴会開催
10月 蒲井地区消防機庫新設
祝島航路船「わかしお」から「いわい」へ
高齢者等給食サービス事業開始
11月 室津幼稚園台風18号被災により室津小学校の二室へ移転

平成12年
3月 「旧上関番所」山口県有形文化財指定
4月 上関町歯科診療所新設移転
柳井地域広域水道企業団浄水場が完成し町内一部供給開始
10月 「上関原子力発電所」計画に関わる第1次公開ヒアリング

平成13年
2月 広域消防西消防署南出張所竣工式
3月 室津幼稚園休園式
四階楼修復完了
4月 上関航路待合所開所
ひなの里よりあい館竣工式
5月 特産物センター10周年記念朝市
6月 上関原子力発電所建設計画の電源開発基本計画へ組み入れ
四階楼・上関町郷土学習館竣工式

平成14年
4月 熊毛郡体育大会、上関町で開催
6月 光・熊毛地区栽培漁業センター開所式
7月 住民基本台帳ネットワークシステム運用開始
8月 祝島小学校休校式

平成15年
3月 特産物センター12周年記念朝市
5月

自然 Nature

■ 位置及び広さ

位置	広さ		
	東西	南北	面積
東経 131°59′60″ ～ 132° 8′20″ 北緯 33°42′60″ ～ 33°51′60″	20.5km	16.5km	34.79㎢

■ 地目別面積（地区別）

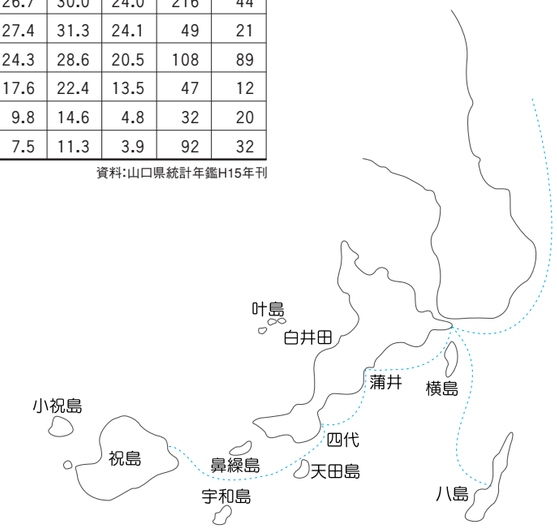
地区＼区分	面積（㎢）	地目別面積（a） 総数	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	その他
室津		7,996	279	553	205	5,136	533	113	1,177
長島		14,488	1,295	2,231	310	7,121	823	205	2,503
八島		3,976	110	290	66	2,779	85	73	573
祝島		8,330	390	1,905	109	4,090	980	15	841
計	34.79	34,790	2,074	4,979	690	19,126	2,421	406	5,094

資料：総務課

■ 気象概要（月別）

月＼区分		気温 平均	最高	最低	降水量 総量	日最大
平成14年	1月	6.1	10.2	2.4	65	19
	2月	6.4	11.1	1.9	35	15
	3月	10.6	15.0	5.9	180	44
	4月	15.0	19.1	10.7	215	61
	5月	18.6	22.5	14.9	217	95
	6月	22.3	26.4	18.5	168	44
	7月	26.7	30.0	24.0	216	44
	8月	27.4	31.3	24.1	49	21
	9月	24.3	28.6	20.5	108	89
	10月	17.6	22.4	13.5	47	12
	11月	9.8	14.6	4.8	32	20
	12月	7.5	11.3	3.9	92	32

資料：山口県統計年鑑H15年刊



人口 Population

■ 国勢調査人口と世帯数の推移

年度＼区分	世帯数	人口 総数	男	女	女10人に対する男の割合	人口密度 人／㎢	一世帯当り人口
平成2年	2,282	5,516	2,515	3,001	8.4	159	2.4
平成7年	2,135	4,845	2,223	2,622	8.5	140	2.3
平成12年	1,982	4,307	1,960	2,347	8.4	124	2.2

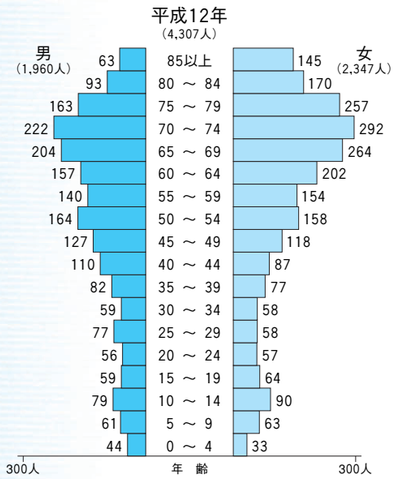
資料：国勢調査

■ 地区別人口

地区＼年	平成2年	平成7年	平成12年
上関	1,520	1,355	1,226
蒲井	115	88	103
四代	258	228	178
白井田	463	386	345
戸津	437	394	372
室津	1,697	1,523	1,366
祝島	909	775	644
八島	117	96	73
計	5,516	4,845	4,307

資料：国勢調査

■ 年齢別男女別人口



資料：国勢調査

■ 人口動態

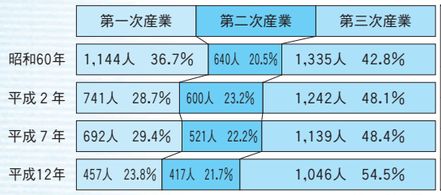
（各年1～12月）

年度＼区分	自然動態 出生	死亡	増減	社会動態 転入	転出	増減
平成12年度	17	90	△73	128	153	△25
平成13年度	12	92	△80	129	140	△11
平成14年度	13	98	△85	115	142	△27

資料：総務課

産業 Industry

■ 産業別就業者数（15才以上）の推移



資料：国勢調査

年度＼区分	第一次産業 農業	林業狩猟	漁業水産	第二次産業 鉱業	建設業	製造業	第三次産業 卸・小売	金融保険	運輸通信	電気ガス	サービス	公務	不動産
昭和60年	594	2	548	3	305	332	415	25	329	4	442	120	0
平成2年	278	2	461	5	272	323	380	19	282	33	406	122	0
平成7年	259	1	432	1	288	232	370	14	220	37	382	113	3
平成12年	138	2	317	1	244	172	319	14	170	39	376	126	2

資料：国勢調査

■ 事業所数・従業者数増加率

年度＼区分	事業所数 実数	対前回増加率	従業者数 実数	対前回増加率
平成8年	395	△8.8	1,568	△9.7
平成13年	341	△13.7	1,339	△14.6

資料：事業所企業統計

■ 漁業協同組合員数及び漁獲金額の推移

区分 / 年度	組合員数	漁獲金額	組合員1人当り漁獲金額
	人	千円	千円
平成12年	566	763,799	1,349
平成13年	562	728,056	1,295
平成14年	549	661,701	1,205

資料:産業振興課

■ 商業の状況

（単位:人、千円）

区分 / 年度	総数（飲食を除く）			卸売業			小売業		
	商店数	従業者数	年間商品販売額	商店数	従業者数	年間商品販売額	商店数	従業者数	年間商品販売額
平成9年	136	285	268,408	9	33	93,384	127	252	175,024
平成11年	114	228	157,922	10	37	50,077	104	191	107,845

資料:山口県の商業

建設 Construction

■ 町道の概況

（単位:m、㎡、%）

区分 / 年度	実延長	面積	改良済延長	舗装済延長	自動車交通不能道延長	歩道延長	改良率	舗装率	橋数	橋延長
平成16年	108,682	383,023	32,900	82,844	66,282	4,246	30.3	76.3	42	177

資料:道路台帳

民生 Public Welfare

■ 福祉医療受給者数

（単位:人）

年度	総数	重度身障	乳幼児	母子
平成13年	318	192	82	44
平成14年	302	181	81	40
平成15年	309	181	85	43

資料:民生課

■ 保育所等の状況

（単位:人）

施設名	公・私の別	平成12年			平成13年			平成14年		
		保母数	定員	措置人員	保母数	定員	措置人員	保母数	定員	措置人員
踊堂保育園	私	4	30	28	4	30	30	4	30	32
上関相互保育園	私	3	20	15	3	20	20	3	20	18
報土戸津保育園	私	3	20	9						
室津保育園	私	2	20	9						
室津幼稚園	公	2	60	3						
田布施第2							1			1
放光							1			1

資料:民生課

■ 農家数と経営耕地面積

（単位:人、世帯、a）

区分 / 年度	農家人口	農家数	専兼別農家数			経営耕地面積			
			専業	第1種兼業	第2種兼業	総数	田	畑	樹園地
平成12年	578	239	46	4	34	6,755	1,326	1,514	3,915

資料:農業センサス
（「専兼別農家数」及び「経営耕地面積」は調査項目変更により販売農家のみの数値）

■ 経営規模別農家数

区分 / 年度	経営耕地面積規模別							
	0.1ha未満	0.1~0.3	0.3~0.5	0.5~0.7	0.7~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0ha以上
平成12年	0	155	48	33		3	0	0

資料:農業センサス

■ 農業算出額（市町村別推計）

（単位:百万円）

区分 / 年度	耕種										畜産				
	計	米	麦類	雑穀・豆類	いも類	野菜	果実	花き	工芸農作物	その他	計	肉用牛	乳用牛	鶏	その他
平成13年	8	1	—	0	1	3	3	0	—	—	x	x	—	—	—
平成14年	x	1	—	x	x	3	3	1	—	x	x	x	—	—	—

資料:山口県農林水産統計年鑑
（X=1未満、数値は県が市町村に割り振り）

■ 年齢別農家人口

区分 / 年度	総数	20才未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60才以上
平成12年	578	41	31	16	42	64	384

資料:農業センサス

■ 漁業経営体の基本構成

区分 / 年度	経営体数				漁船				
	総数	専業	兼業		無動力船隻数	船外機付船隻数	動力船		
			漁業が主	漁業が従			隻数	トン数	馬力数
平成10年	319	162	110	47	12	17	361	912	9,192

資料:漁業センサス

■ 年齢別漁業就業者数

区分 / 年度	総数	20才未満	20~29才	30~39才	40~49才	50~59才	60才以上
平成5年	476	3	13	31	53	114	262
平成10年	420	0	9	23	45	75	268

資料:漁業センサス

■ 主とする漁業種類別経営体数

区分 / 年度	総数	小型底びき網	その他の刺網	その他の釣	その他のはえ縄	船びき網	小型定置網	採藻採貝	その他の漁業	のり養殖
平成10年	321	56	70	132	21	10	3	5	24	0

資料:漁業センサス

■ 魚種別漁獲量

（単位:t）

区分 / 年度	総数	いわし類	あじ類	ぶり類	ひらめかれい類	ぐち類	いぼだいえそ類	はもたちうお	たい類	さわら類	ふぐ類	その他の漁類	えびかに類	いか類	たこ類	なまこうに類	あわびさざえ類	その他の貝類	海藻類
平成13年	906	0	160	19	94	2	15	130	53	0	23	202	7	84	75	35	7	0	0
平成14年	868	0	149	8	96	1	11	113	50	0	18	233	12	74	74	23	6	0	0

資料:山口県農林水産統計年鑑

■国民健康保険の療養諸費給付状況

（単位:千円）

区分／年度	総額	療養の給付額						療養費
		入院	入院外	歯科	薬剤支給	食事療養費	計	
平成12年度	448,252	225,731	152,486	31,486	8,379	29,114	447,196	1,056
平成13年度	466,664	226,851	168,426	30,923	10,526	28,066	464,792	1,872
平成14年度	412,314	196,312	144,963	24,602	19,730	25,317	410,924	1,390

資料:民生課

■国民年金加入状況

（各年4月1日）（単位:人、%）

区分／年度	被保険者数	人口	加入率
平成13年	996	4,568	21.8
平成14年	976	4,476	21.8
平成15年	940	4,364	21.5

資料:民生課

■老人医療受給者数等

（単位:人、千円）

区分／年度	被保険者数	医療費
平成12年	1,572 人	1,038,987 千円
平成13年	1,583	1,005,528
平成14年	1,528	1,089,127

資料:民生課

■老人医療の医療費給付（合計）

（単位:千円）

区分／年度	総額	療養の給付額						施設療養費等
		入院	入院外	歯科	薬剤支給	食事療養費	計	
平成12年度	1,010,311	552,964	358,571	28,589	21,680	45,335	1,007,143	3,168
平成13年度	1,005,524	524,962	380,279	27,328	22,957	49,998	1,005,524	
平成14年度	1,089,124	619,808	346,650	27,852	39,831	54,983	1,089,124	

資料:民生課

教育 Education

■学校規模の状況（小学校）

（単位:人）

区分／年度	学校数	学級数	児童数		
			男	女	計
平成13年度	3	14	80	83	163
平成14年度	3	14	72	75	147
平成15年度	2	14	60	63	123

資料:教育委員会

■学校規模の状況（中学校）

（単位:人）

区分／年度	学校数	学級数	生徒数		
			男	女	計
平成13年度	2	6	53	51	104
平成14年度	2	6	50	51	101
平成15年度	2	7	52	51	103

資料:教育委員会

■学校規模の状況（幼稚園）

（単位:人）

区分／年度	園児数	学級数	教員数
平成11年度	5	2	2
平成12年度	3	1	2
平成13年度	休園		

資料:教育委員会

■図書貸出し実績

（単位:冊）

年度	計
平成12年度	2,115
平成13年度	2,257
平成14年度	2,013

資料:教育委員会

■ホームヘルプサービス事業実績

（単位:人）

区分／年度	老人分				身体障害者分利用者数	合計	派遣時間数
	利用者数						
	ねたきり	一人暮らし	その他	小計			
平成9年度	(0)	(0)	(0)	0 (0)	(3)	0 (3)	0.0
平成10年度	(0)	(0)	(0)	0 (0)	(4)	0 (4)	0.0
平成11年度	(0)	(0)	(0)	0 (0)	(5)	0 (5)	0.0

（ ）内は、生活保護世帯再掲　資料:民生課

■介護保険サービス利用状況（月平均利用人数）

（単位:人）

区分	平成12年度	平成13年度	平成14年度
訪問介護	30	39	47
訪問入浴介護	0	2	3
訪問看護	2	2	2
通所介護	30	41	42
通所リハビリ	2	4	3
福祉用具貸与	5	17	24
短期入所生活介護	6	8	10
短期入所療養施設	1	1	1
居宅療養管理指導	5	9	14
地方対応型共同生活介護	0	1	0
居宅介護サービス計	81	124	146
介護老人福祉施設	33	31	35
介護老人保健施設	11	13	13
介護療養型医療施設	36	33	32
施設介護サービス計	80	77	80
合計	161	201	226

資料:民生課

■要介護（支援）認定者数　年度末（介護保険施行後）

区分／年度	要介護認定者数						合計	要介護（支援）認定の申請件数			
	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		新規	更新	変更	合計
平成13年度	25 (0)	68 (0)	50 (0)	23 (0)	38	20	224 (0)	95 (0)	212	4 (0)	311 (0)
平成14年度	30 (0)	85 (0)	57 (0)	31 (0)	37	22	262 (0)	113 (0)	254	9 (0)	376 (0)
平成15年度	(0)	(0)	(0)	0 (0)			0 (0)	(9)		0 (9)	0 (18)

資料:民生課

■緊急通報システム・老人福祉電話設置状況

（単位:台）

年度	緊急通報システム	老人福祉電話
平成12年度	7	10
平成13年度	9	9
平成14年度	30	8

資料:民生課（年度末3月31日現在）

■国民健康保険加入状況

（単位:人、千円）

区分／年度	世帯数	被保険者数	保険税（現年度調定額）
平成12年度	1,580	2,893	201,719
平成13年度	1,572	2,873	192,889
平成14年度	1,569	2,840	183,380

資料:民生課（数字は年度末）（税は年額）

衛生 Health

■ 予防接種実施状況

（単位:人）

区分／年度	ポリオ	日本脳炎	麻しん	風しん	ツベルクリン	BCG	三種混合	ジフテリア	インフルエンザ(高齢者)
平成12年度	28	95	17	39	115	80	73	38	
平成13年度	33	87	21	30	112	73	61	31	796
平成14年度	34	94	14	12	94	35	47	34	815

資料:高齢者保健福祉センター

■ 基本検診

区分／年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	要医療者数(人)	要医療者率(%)
平成12年度	1,660	911	54.9	205	22.5
平成13年度	1,660	904	54.5	205	22.7
平成14年度	1,660	918	55.3	234	25.5

資料:高齢者保健福祉センター

■ 母子保健推進員活動状況

区分／年度	研修会		訪問件数
	回数	人数	
平成12年度	6	40	897
平成13年度	6	63	670
平成14年度	7	44	702

資料:高齢者保健福祉センター

■ すくすくセミナー開催状況

区分／年度	回数	参加数
平成12年度	6	195
平成13年度	7	220
平成14年度	6	231

資料:高齢者保健福祉センター

■ 簡易水道の状況

	上関統合簡易水道						室津統合簡易水道			祝島簡易水道	八島簡易水道	合計
	上関	蒲井	四代	白井田	戸津	中の浦	室津	志田	大津	祝島	八島	
給水戸数(戸)	588	65	152	227	137	26	535	64	30	453	70	2,347
給水人口(人)	1,140	76	177	306	312	35	1,069	133	58	629	71	4,006
年間給水量(㎥)	98,337	10,780	11,057	23,023	21,204	2,447	92,838	10,313	2,675	43,602	3,612	319,888
普及率(%)	99.7	100.0	99.4	98.1	99.4	100.0	99.9	100.0	100.0	99.7	100.0	99.7

資料:生活環境課(平成14年度)

■ ごみ収集状況

種別	種類等	各数量	計
混合ごみ		0t	0t
可燃ごみ		750t	750t
不燃ごみ	灰類	11t	49t
	ガラスくず陶器類	38t	
資源ごみ	金属類	78t	235t
	リサイクルビン	40t	
	廃乾電池	2t	
	廃蛍光灯	1t	
	古紙	111t	
	ペットボトル	3t	
その他		0t	0t
合計		1,034t	1,034t

資料:生活環境課(平成14年度)

■ し尿処理の状況

非水洗化人口			3,221人
水洗化人口内訳	内訳	計画収集人口	3,147人
		自家処理人口	74人
	水洗化人口		1,147人
	浄化槽人口内訳	公共下水道人口	0人
		コミュニティプラント人口	0人
		浄化槽人口	1,147人
		合併処理浄化槽人口	502人
		内訳 補助事業による合併処理浄化槽	127人
		内訳 農業集落排水施設人口	253人
		内訳 その他の合併処理浄化槽人口	122人
		単独処理浄化槽人口	645人

資料:生活環境課(平成14年度)

消防 Fire Fighting

■ 火災発生状況

区分／年度	火災発生件数				焼損面積		死者(人)	傷者(人)
	総数	建物	林野	その他	建物(㎡)	林野(a)		
平成12年度	2	1	0	1	12	0	0	0
平成13年度	1	1	0	0	15	0.1	0	0
平成14年度	1	0	1	0	0	15	0	0

資料:総務課

■ 消防団の現況

区分／年度	分団数	団員数(人)	消防機械(台)			
			総数	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ積載車	小型動力ポンプ
平成14年度	6	243	32	0	9	23

資料:総務課

選挙 Election

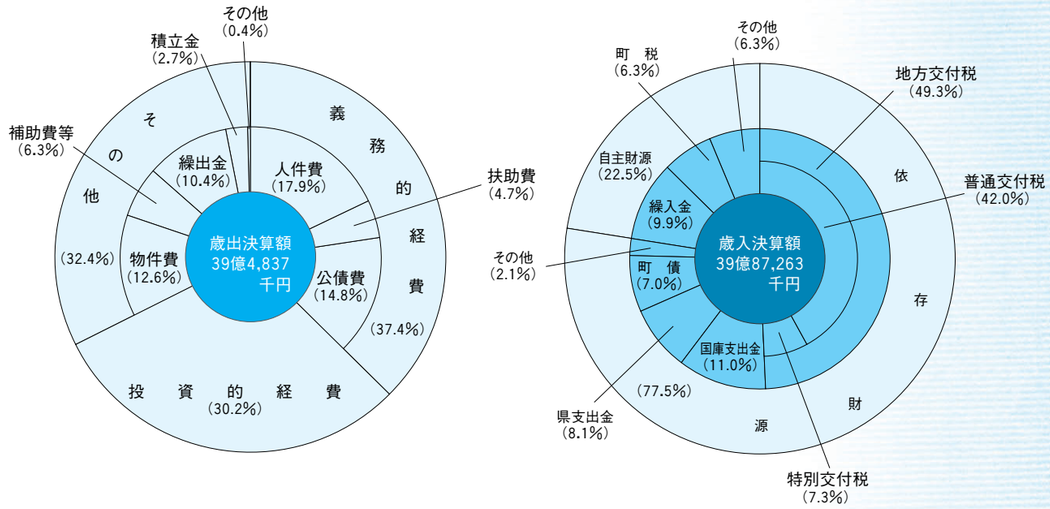
■最近の選挙投票状況

執行年月日	選挙名	当日有権者数			投票者数			投票率（%）		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成10年2月8日	上関町議会議員一般選挙	無投票								
平成11年4月11日	山口県議会議員一般選挙	無投票								
平成11年4月25日	上関町長選挙	1,845	2,283	4,128	1,734	2,172	3,906	93.98	95.14	94.62
平成11年7月12日	参議院議員通常選挙	1,910	2,349	4,259	1,343	1,805	3,148	70.31	76.84	73.91
平成12年4月14日	上関町農業委員会委員一般選挙	無投票								
平成12年6月25日	衆議院議員総選挙	1,832	2,259	4,091	1,446	1,867	3,313	78.93	82.65	80.98
平成12年8月3日	山口県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員一般選挙	543	516	1,059	438	409	847	80.66	79.26	79.98
平成12年8月6日	山口県知事選挙	1,834	2,243	4,077	1,268	1,699	2,967	69.14	75.75	72.77
平成13年7月29日	参議院議員通常選挙	1,817	2,201	4,018	1,274	1,677	2,951	70.12	76.19	73.44
平成14年2月10日	上関町議会議員一般選挙	1,799	2,185	3,984	1,662	2,050	3,712	92.38	93.82	93.17
平成15年4月11日	上関町農業委員会委員一般選挙	無投票								
平成15年4月13日	山口県議会議員一般選挙	1,754	2,124	3,878	1,405	1,789	3,194	80.10	84.23	82.36
平成15年4月27日	上関町長選挙	1,743	2,111	3,854	1,567	1,966	3,533	89.90	93.13	91.67
平成15年5月8日	山口県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員補欠選挙	無投票								
平成15年7月13日	上関町議会議員補欠選挙	1,746	2,110	3,856	1,506	1,906	3,412	86.25	90.33	88.49
平成15年10月5日	上関町長選挙	1,722	2,089	3,811	1,524	1,903	3,427	88.50	91.10	89.92
平成15年11月9日	衆議院議員総選挙	1,726	2,096	3,822	1,268	1,645	2,913	73.46	78.48	76.22

資料:総務課

財政 Finances

■平成14年度普通会計決算分析表



資料:総務課

■一般会計・歳入・歳出の状況（平成14年度決算）

歳入

歳入区分	決算額（千円）	構成比（%）
1 町税	251,925	6.5
2 地方譲与税	23,637	0.6
3 利子割交付金	4,973	0.1
4 地方消費税交付金	30,004	0.8
5 自動車取得税交付金	13,573	0.3
6 地方特例交付金	12,350	0.3
7 地方交付税	1,965,799	50.3
8 交通安全対策特別交付金	0	0.0
9 分担金及び負担金	22,050	0.6
10 使用料及び手数料	36,353	0.9
11 国庫支出金	440,334	11.3
12 県支出金	319,656	8.2
13 財産収入	22,886	0.6
14 繰入金	394,426	10.1
15 繰越金	54,308	1.4
16 諸収入	36,319	0.9
17 町債	277,009	7.1
歳入合計	3,905,602	100.0

歳出

歳出区分	決算額（千円）	構成比（%）
1 議会費	66,928	1.8
2 総務費	562,545	14.7
3 民生費	636,473	16.6
4 衛生費	314,287	8.2
5 労働費	1,862	0.0
6 農林水産業費	381,536	10.0
7 商工費	129,306	3.4
8 土木費	419,258	11.0
9 消防費	124,009	3.2
10 教育費	610,413	16.0
11 災害復旧費	0	0.0
12 公債費	577,305	15.1
13 諸支出金	0	0.0
歳出合計	3,823,922	100.0

資料:総務課

■特別会計の状況（平成14年度決算）

（単位:千円）

会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険事業	665,226	627,673	37,553
老人医療	1,114,745	1,113,802	943
介護保険事業	422,217	421,907	310
保険事業勘定	414,511	414,495	16
介護サービス事業勘定	7,706	7,412	294
へき地診療所事業	70,727	70,387	340
へき地歯科診療所事業	45,975	45,895	80
簡易水道事業	223,855	221,329	2,526
農業集落排水事業	29,490	29,485	5
漁業集落排水事業	106,186	103,499	2,687
航運事業	36,592	34,489	2,103
交通災害共済事業	1,993	1,954	39
用地取得事業	175,301	175,299	2

資料:総務課

行政 Administration

■ 町内の主な官公署・学校・団体

名称	所在地	電話番号
上関町役場	上関町大字長島第503	62—0311
室津支所	室　津847	62—1001
祝島支所	祝　島184—1	66—2003
長島分室白井田事務所	長島第3926	65—0111
〃　四代事務所	長島第2179	65—0142
〃　蒲井取次所	長島第1353—1	65—0112
〃　戸津取次所	長島第4723—1	62—0004
八島分室	八島第688—3	62—1822
上関町教育委員会	長　島4904	62—0245
上関町立中央公民館	室　津847	62—1460
〃　上関地区館	長　島4904	62—0245
上関町民体育館	室　津342—1	62—1752
室津斎場	室　津583—1	62—1492
上関町社会福祉協議会	長　島4904	62—0695
上関町保健センター	長　島583—1	62—0184
祝島小学校（休校中）	祝　島3	66—2050
祝島中学校	祝　島3	66—2013
上関中学校	長　島280	62—0321
上関小学校	長　島448	62—0054
室津小学校	室　津924	62—1026
熊毛南高等学校上関分校	長　島594	62—0049
上関町特産物センター	長　島617—10	62—1093
白井田文化福祉センター	長　島3926	65—0132
祝島診療所	祝　島137	66—2345
上関歯科診療所	長　島513	62—0600
祝島歯科診療所	祝　島216	66—2940
四代診療所	長　島2159—4	65—0615
白井田診療所	長　島3910—3	65—0111
八島診療所	八　島　688—3	62—1833
上関相互保育園	長島第644	62—0227
踊堂保育園	長　島440	62—0138

名称	所在地	電話番号
南すおう農協上関支所	上関町大字室　津857	62—1004
〃　長島出張所	長　島472	62—0009
〃　四代事業所	長　島2166—1	65—0318
〃　白井田事業所	長　島3927	65—0423
〃　八島事務所	八　島711	62—1855
〃　祝島事業所	祝　島215	66—2004
上関郵便局	室　津199—1	62—1000
上関港郵便局	長　島375—1	62—0200
長島郵便局	長　島3737	65—0001
戸津簡易郵便局	長　島4717	62—0960
八島簡易郵便局	八　島688—12	62—1800
祝島郵便局	祝　島129	66—2200
上関町商工会	長　島4904	62—0177
平生警察署上関警察官駐在所	長島字御茶屋村583—21	62—0034
〃　室津警察官駐在所	室　津658—2	62—1064
〃　祝島警察官駐在所	祝島字東浜村184—4	66—2008
上関漁協	長　島4902—2	62—0014
〃　八島出張所	八　島	62—1811
〃　白井田支所	長島白井田	65—0731
室津漁協	室津1781—2	62—1002
四代漁協	長島四代	65—0010
祝島漁協	祝島	66—2121

■ 歴代三役

町　長

歴順	氏名	就任	退任
初代	嶋末　富貴雄	昭和33年2月1日	昭和34年4月29日
二代	加納　新	昭和34年4月30日	昭和38年4月29日
三代	中守庄治	昭和38年4月30日	昭和42年4月29日
四代	中守庄治	昭和42年4月30日	昭和46年4月29日
五代	加納　新	昭和46年4月30日	昭和50年4月29日
六代	加納　新	昭和50年4月30日	昭和54年4月29日
七代	加納　新	昭和54年4月30日	昭和58年4月29日
八代	片山秀行	昭和58年4月30日	昭和62年4月29日
九代	片山秀行	昭和62年4月30日	平成3年4月29日
十代	片山秀行	平成3年4月30日	平成7年4月29日
十一代	片山秀行	平成7年4月30日	平成11年4月29日
十二代	片山秀行	平成11年4月30日	平成15年4月29日
十三代	加納簾香	平成15年4月30日	平成15年9月8日
十四代	柏原重海	平成15年10月6日	在任中

助　役

歴順	氏名	就任	退任
初代	岡村芳衛	昭和33年2月1日	昭和34年9月17日
	中守庄治	昭和33年3月6日	昭和34年9月17日
二代	荒川　完	昭和34年9月30日	昭和38年9月29日
三代	坂田頼人	昭和38年10月9日	昭和42年10月8日
四代	坂田頼人	昭和42年10月9日	昭和46年10月8日
五代	坂田頼人	昭和46年10月9日	昭和50年10月8日
六代	荒川　完	昭和50年10月9日	昭和54年10月8日
七代	荒川　完	昭和54年10月9日	昭和58年3月31日
八代	世木敏夫	昭和58年5月12日	昭和59年10月31日
九代	神田初男	昭和59年12月12日	昭和62年6月2日
十代	鈴木博康	昭和62年6月3日	平成3年6月2日
十一代	鈴木博康	平成3年6月3日	平成7年6月2日
十二代	鈴木博康	平成7年6月3日	平成9年3月31日
十三代	國行研一郎	平成9年4月1日	平成12年6月30日
十四代	萬　武	平成13年4月1日	平成14年10月18日
十五代	下村正和	平成15年10月17日	在任中

収入役

歴順	氏名	就任	退任
初代	坂田頼人	昭和33年2月1日	昭和34年10月8日
二代	坂田頼人	昭和34年10月9日	昭和38年10月8日
三代	蛭子竹次	昭和38年10月9日	昭和39年12月7日
四代	友沢利雄	昭和39年12月8日	昭和47年12月16日
五代	友沢利雄	昭和47年12月17日	昭和51年12月16日
六代	友沢利雄	昭和51年12月17日	昭和55年12月16日
七代	友沢利雄	昭和55年12月17日	昭和59年12月16日
八代	友沢利雄	昭和59年12月17日	昭和62年6月2日
九代	原田博之	昭和62年6月3日	平成3年6月2日
十代	國行研一郎	平成3年6月3日	平成7年6月2日
十一代	國行研一郎	平成7年6月3日	平成9年3月3日
十二代	萬　武	平成9年4月1日	平成13年3月31日
十三代	川崎茂昭	平成13年7月1日	在任中

■ 歴代議長及び副議長

議　長

歴順	氏名	就任	退任
初代	山田数男	昭和33年2月28日	昭和37年2月27日
二代	木下友太郎	昭和37年2月28日	昭和41年2月27日
三代	吉田猛夫	昭和41年2月28日	昭和45年2月27日
四代	田中正己	昭和45年2月28日	昭和49年2月27日
五代	田中正己	昭和49年2月28日	昭和53年2月27日
六代	片山秀行	昭和53年2月28日	昭和57年2月27日
七代	西元正夫	昭和57年2月28日	昭和61年2月27日
八代	西元正夫	昭和61年2月28日	平成2年2月27日
九代	西元正夫	平成2年2月28日	平成6年2月27日
十代	西元正夫	平成6年2月28日	平成10年2月27日
十一代	西元正夫	平成10年2月28日	平成14年2月27日
十二代	佐々木襄	平成14年2月28日	在任中

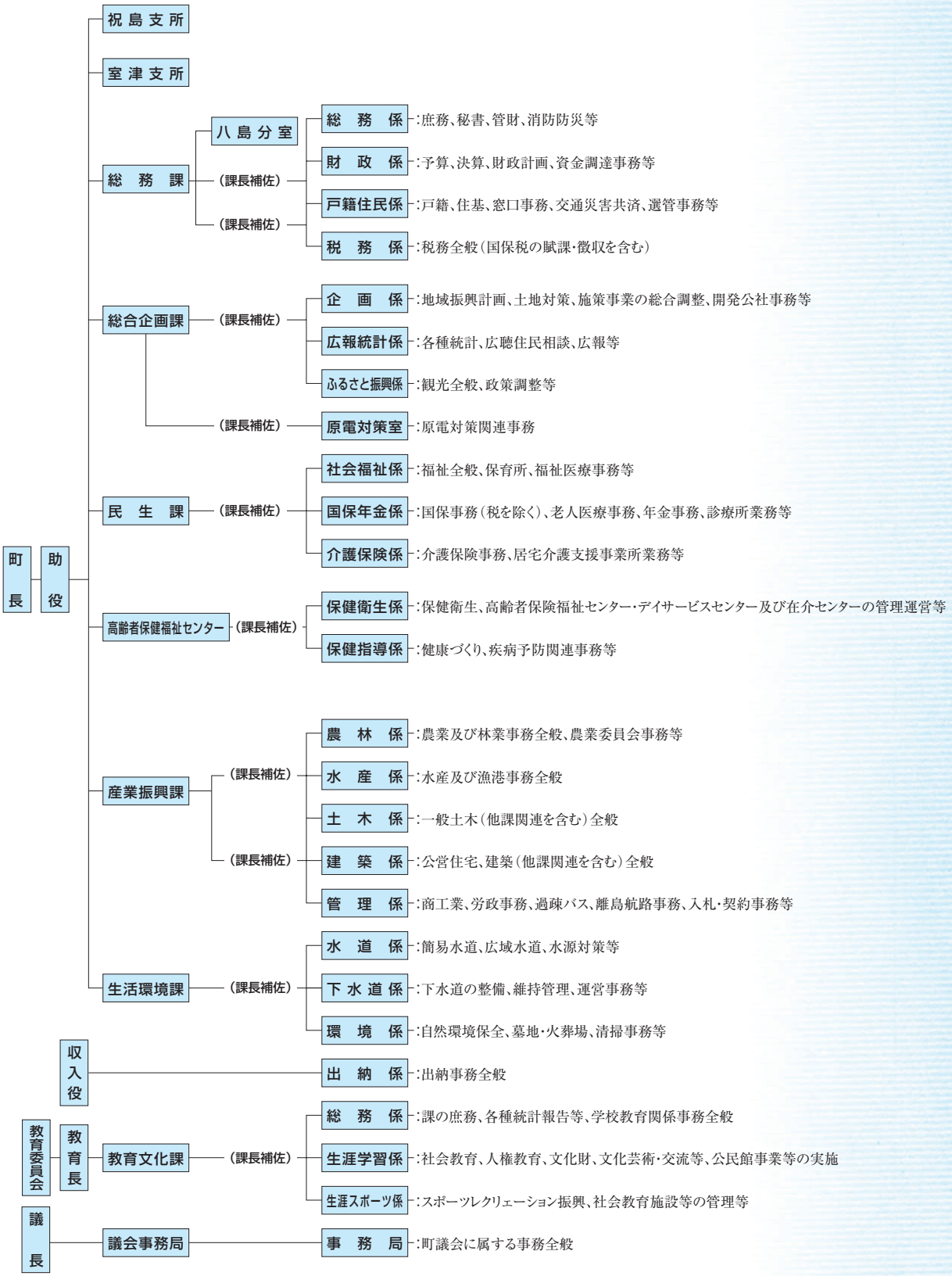
副議長

歴順	氏名	就任	退任
初代	峯石一郎	昭和33年2月28日	昭和37年2月27日
二代	吉田猛夫	昭和37年2月28日	昭和41年2月27日
三代	浅海峯香	昭和41年2月28日	昭和45年2月27日
四代	西元正夫	昭和45年2月28日	昭和49年2月27日
五代	西元正夫	昭和49年2月28日	昭和53年2月27日
六代	清水　薫	昭和53年2月28日	昭和55年10月29日
七代	大津藤男	昭和55年12月12日	昭和57年2月27日
八代	嶋中　洋	昭和57年2月28日	昭和61年2月27日
九代	小村良典	昭和61年2月28日	平成2年2月27日
十代	嶋中　洋	平成2年2月28日	平成6年2月27日
十一代	嶋中　洋	平成6年2月28日	平成10年2月27日
十二代	嶋中　洋	平成10年2月28日	平成14年2月27日
十三代	加納簾香	平成14年2月28日	平成15年4月22日
十四代	山谷良数	平成15年5月21日	在任中

■ 歴代教育長

歴順	氏名	就任	退任
初代	浜田利治	昭和33年2月1日	昭和36年9月30日
二代	池田芳男	昭和36年12月22日	昭和38年9月30日
三代	池田芳男	昭和38年10月1日	昭和42年9月30日
四代	田上親之	昭和42年10月1日	昭和45年9月30日
五代	田上親之	昭和45年10月1日	昭和48年4月17日
六代	佐原英雄	昭和48年6月1日	昭和49年9月30日
七代	佐原英雄	昭和49年10月1日	昭和53年9月30日
八代	中川勝之	昭和53年10月1日	昭和57年9月30日
九代	中川勝之	昭和57年10月1日	昭和61年9月30日
十代	山田正則	昭和61年10月9日	平成5年9月30日
十一代	立野正幸	平成5年10月1日	平成9年9月30日
十二代	立野正幸	平成9年10月1日	平成13年9月30日
十三代	立野正幸	平成13年10月1日	在任中

■ 行政機構


町長
助役
祝島支所
室津支所
総務課
八島分室
（課長補佐）
（課長補佐）
総　務　係：庶務、秘書、管財、消防防災等
財　政　係：予算、決算、財政計画、資金調達事務等
戸籍住民係：戸籍、住基、窓口事務、交通災害共済、選管事務等
税　務　係：税務全般（国保税の賦課・徴収を含む）
総合企画課
（課長補佐）
（課長補佐）
企　画　係：地域振興計画、土地対策、施策事業の総合調整、開発公社事務等
広報統計係：各種統計、広聴住民相談、広報等
ふるさと振興係：観光全般、政策調整等
原電対策室：原電対策関連事務
民　生　課
（課長補佐）
社会福祉係：福祉全般、保育所、福祉医療事務等
国保年金係：国保事務（税を除く）、老人医療事務、年金事務、診療所業務等
介護保険係：介護保険事務、居宅介護支援事業所業務等
高齢者保健福祉センター
（課長補佐）
保健衛生係：保健衛生、高齢者保険福祉センター・デイサービスセンター及び在介センターの管理運営等
保健指導係：健康づくり、疾病予防関連事務等
産業振興課
（課長補佐）
（課長補佐）
農　林　係：農業及び林業事務全般、農業委員会事務等
水　産　係：水産及び漁港事務全般
土　木　係：一般土木（他課関連を含む）全般
建　築　係：公営住宅、建築（他課関連を含む）全般
管　理　係：商工業、労政事務、過疎バス、離島航路事務、入札・契約事務等
生活環境課
（課長補佐）
水　道　係：簡易水道、広域水道、水源対策等
下水道係：下水道の整備、維持管理、運営事務等
環　境　係：自然環境保全、墓地・火葬場、清掃事務等
収入役
出　納　係：出納事務全般
教育委員会
教育長
教育文化課
（課長補佐）
総　務　係：課の庶務、各種統計報告等、学校教育関係事務全般
生涯学習係：社会教育、人権教育、文化財、文化芸術・交流等、公民館事業等の実施
生涯スポーツ係：スポーツレクリェーション振興、社会教育施設等の管理等
議長
議会事務局
事　務　局：町議会に属する事務全般

自然も元気、人も元気！

今日、初めて出会った人と「こんにちは」と挨拶をかわす。
美しい自然に囲まれた上関町では、新しい出会いのたびに元気をもらっています。
自然も人も元気に輝いています。





山口県上関町

発行/平成16年3月 上関町役場　企画・編集/総合企画課
〒742-1402 山口県熊毛郡上関町大字長島503 tel.0820-62-0316 fax.0820-62-0783
http://www.d2.dion.ne.jp/~k_yakuba/
印刷/大村印刷株式会社